

世代を超えて集い、学び、高めあおう
～子どもたちと障害児教育の未来をつくろう～

第23回全国障害児学級&学校 学習交流集会 in 愛知(+オンライン)

期日：2024年1月6日(土)～7日(日)

開催要綱

場所：1月6日 刈谷産業振興センター

1月7日 ①名古屋市教育センター分館(名古屋市教育館)(予定)※変更の場合連絡します

②労働会館 ③愛知県教育会館(簡易地図は最終ページ)

開催方法：会場での直接参加(一部オンライン併用)

参加費：2000円(オンライン参加も同額・1日のみ参加は1000円)

学生・保護者は500円(1日・両日いずれも)



日程 1月6日(土) 13:00～16:30 全体会(夜は各種交流会)

1月7日(日) 9:30～11:30 てんこ盛り講座・文化バザール

13:00～16:30 旬の実践分科会・基礎講座

全体会 13:00～16:30(オンライン配信あり)

◇13:00～ オープニング

手話ロックバンド「BRIGHTEYES super-duper」

…1989年、愛知県立名古屋聾学校の生徒を中心に結成。結成35年目を迎えている。

「聞こえなくても音楽は楽しむことができる！」をモットーに名古屋を中心に全国各地で活動中。NHK「きらっと生きる」「聴覚障害者の時間」、フジテレビ系列「奇跡体験アンビリバボー」、ドキュメンタリー映画「ジャップ・ザ・ロック・リボルバー」等にも出演。現在、メンバー4名



◇13:40～ 主催者あいさつ・基調報告

◇14:15～16:15 記念講演 竹沢 清さん(元愛知県ろう学校教員)

「子どもの悩み・ねがいに出会って、私たちは教師になっていく - 実践と運動を通して語る」

<講師紹介>1946年石川県生まれ。名古屋大学経済学部を卒業後、障害児教育をまったく知らずにろう学校へ。以来、障害児教育に携わる。障害の重い子の実践をすすめ、同時に、愛知高教組障害児学校部長、全教障害児教育部副部長として、教育条件整備の運動を担う。著書として『子どもの真実に出会うとき』『子どもが見えてくる実践の記録』(ともに全障研出版)など。

<全体講演に寄せて(実行委員より)>

竹沢清さんの話から、子どもの見方・働きかけはもちろん、学校・社会のありようも学ぶことができます。厳しい教育現場で「教師が教師であり続けるための活力」が、きっとあなたにも湧いてくるはず。竹沢清さんの元気の源は「実践に裏づけられた勇気」です。

◇16:15～16:30 まとめ・諸連絡

主催：全教障害児教育部・教組共闘連絡会・現地実行委員会

【お問い合わせ】TEL 03-5211-0123 FAX 03-5211-0124

てんこ盛り講座・文化バザール(1/7) 9:30~11:30 (※のみオンライン併用)

講座名		講師	会場
1	どの子にも楽しい学びと生きる喜びを ～国語科の実践から～	渡邊 朋子 さん (千葉)	①
2	みんなで学ぶ 楽しい算数	小島 貴子 さん (埼玉)	①
3	わくわくときどき 楽しい学級づくり	原田 宏美 さん (愛知)	①
4	「教科」につながる力を育てる ～ことば・コミュニケーションをはぐくむ～	櫻井 宏明 さん (全国障害者問題研究会)	①
5	障害の重い子の発達を学ぼう ～生活や実践を通しての子ども理解	原田 文孝 さん (兵庫)	①
6	医療的ケアの今とこれから ～医療的ケア児支援法成立で前進したことと課題～	下川 和洋 さん (NPO 法人地域ケアさぼーと研究所・理事)	①
7	卒業生の姿から学校教育を考えよう	南 寿樹 さん (NPO 法人くるみの会生活介護事業所・所長)	①
8	障害のある子どもたちの包括的性教育の実践 ～からだの権利と性的同意を中心に～ 【※】	伊藤 修毅 さん (日本福祉大)	③
9	インクルーシブ教育の理念と総括所見 【※】	荒川 智 さん (茨城大名誉教授)	②
10	『特別支援教育』に関わる近年の動向と わたしたちのとりくみ 【※】	越野 和之 さん (奈良教育大)	②

文化バザール(1/7) 9:30~11:30 (すべて親子参加 OK)

文化バザール		講師	会場
1	「手話ロックバンド」 「ブライトアイズ」の演奏に合わせて、あなたも手話ボーカルやってみませんか？みんなで演奏を楽しみましょう♪	成田 佳織 さん (愛知) BRIGHT EYES Super-duper	③
2	「自分の体を感じてみよう！～おはなしあそびもあるよ～」 体のこと、意識してみませんか？手と足の感じが変わると体の感じ方も変わる！パネルシアターと手遊びで体験的に学びます。	谷本 裕之 さん (愛知 障害児学校)	②
3	「種も仕掛けもある手品」 手品クラブ出身の遠藤先生があなたをマジックの世界に引き込みます。ぜひみんなで楽しみませんか。	遠藤 俊彦 さん (愛知 高校)	②

フィールドワーク(1/7) 10:00~11:30

「愛知・名古屋、戦争のつめ痕散歩」 (定員20名程度) 参加費無料	講師 伊藤 厚史 さん (名古屋市見晴台考古資料館)
「愛知・名古屋戦争に関する資料館」を見学後、「史霊」碑や軍施設の名残など、戦争遺跡をたどりながら名古屋城まで歩きます。案内してくれる人がいないとなかなか気付けない、でも確かに残っている戦争の傷跡。新しい視点で名古屋城まで散歩してみませんか。	

※フィールドワークにお申込みの方には、集合時間・場所等の詳細をメールにてお知らせします。

基礎講座(1/7) 13:00~16:00 (オンライン併用) 会場:②労働会館

「障害のある子どもたちに幸せな日々を～子どもの思いを理解し発達を保障するために」
近藤 直子さん (NPO あいち障害者センター理事長・日本福祉大名誉教授)
4月に「こども家庭庁」が発足し、子どもの権利の尊重と幸せな生活の保障が強調されていますが、教育の場では何が求められるのでしょうか。子どもが世界を広げていくために求められる「こども理解」について考えます。

旬の実践分科会(1/7) 13:00~16:30 (※のみオンライン併用)

旬の実践分科会	共同研究者	会場
1, 障害児学級での教育実践(小)	大島 悦子さん(元特別支援学級教員)	①
野村 亮介(愛知)「特別支援学級での国語の実践~ことわざカルタで想像力を広げ、つながる子どもたち~」 濱田 里美(香川)「自立活動-身体づくり・動きづくり-6年間の取り組みを通して」		
2, 障害児学級での教育実践(中)	山下 洋児さん(元特別支援学級教員)	①
河本 文子(広島)「自閉症・情緒障害学級の今」(仮) 金坂 美穂(東京)「異動1年目、とにかくはじめてみた物語の読み取り と、その後」		
3, 通常学級・通級指導教室の教育実践	越野 和之さん(奈良教育大)	①
芦原 真美(東京)「『特別支援教室がある』ということ」 篠田 友子(埼玉)「通級指導で大事にしていること」		
4, 視覚障害児の教育実践【※】	江口 美和子さん(元盲学校教員)	②
富田 正人(埼玉)「主体性の向上について考える」 川崎 学(愛知)「虐待のトラウマを抱える生徒と家族を、同時に支える体制づくりの一事例 ~受け止める、共有する、導く視点~」		
5, 聴覚障害児の教育実践	竹沢 清さん(元ろう学校教員)	①
角 哲郎(滋賀)「新聞を通して社会認識を育て、自己を見つめる」 早瀬 陽彦(京都)「準ずる教育課程の実践」		
6, 病弱の子どもたちの教育実践	栗山 宣夫さん(育英短期大)	③
江口凡太郎(北海道)「訪問学級に移籍したTさんとの日々 ~共に学んだ最後の時間~」 金澤 園子(神奈川)「学校って楽しいね ~病弱支援学校ができること~」		
7, 発達の遅れと授業づくり・教育課程づくり ア) 1歳半未満の発達段階の子どもたち	河合 隆平さん(都立大)	②
岩見 海(京都)「3年目の僕とYくんとの奮闘記」 嵯峨 寛之(青森)「重度重複障害を持つ児童生徒が学校で書道を楽しめるように」		
8, 発達の遅れと授業づくり・教育課程づくり イ) ことば獲得期の発達段階の子どもたち	高木 尚さん(白梅学園大非常勤講師)	②
長嶋 翔太(北海道)「コミュニケーションのとり方や関わり方の葛藤~Kさんとの関わりを通して考えること~」 安井 紀貴(愛知)「はやとくんの思いを世の中へ」		
9, 発達の遅れと授業づくり・教育課程づくり ウ) 教科指導・教科入門期の発達段階の子どもたち	櫻井 宏明さん(全国障害者問題研究会)	②
M.M (北海道)「言葉の世界で ~私の『国語』実践~」 中尾久美子(和歌山)「小2・3クラスつれづれ日記」		
10, 自閉症・自閉的傾向の子どもたちの授業づくり ・教育課程づくり(小)	三木 裕和さん(立命館大)	③
藤木 直(静岡)「思いを伝えやり取りする力の獲得を目指して」 阿部のぞみ(東京)「Aさんとの関係づくり ~トイレでのやりとりを通して~」		
11, 自閉症・自閉的傾向の子どもたちの授業づくり ・教育課程づくり(中・高)	別府 哲さん(岐阜大)	①
三谷 真大(愛知)「『本当は食べたい!』~子どもの願いに近づいた実践~」 浜名小太郎(静岡)「教師間の連携で見た子どもたちの成長」		
12, 青年期の課題と授業づくり・教育課程づくり	山崎 由可里さん(和歌山大)	①
樋口 洋一(東京)「就業技術科の生徒の自己肯定感を高めるために~社会の授業実践を通じて考える~」 前島 洋祐(埼玉)「生徒と考えた年間計画」		
13, 性教育の実践	伊藤 修毅さん(日本福祉大)	③
天野 幹枝(愛知)「特別支援学級で『性教育』の授業をやってみた」 鈴木こずえ(埼玉)「好きを学ぼう(高等部での性教育)~手探りの授業づくり~」		
14, 寄宿舎の教育実践1	小野川 文子さん(北海道教育大)	②
小川真奈美(滋賀)「人生の土台をつくってもらった養護学校12年 ~輝き続ける娘、母もまだまだ奮闘中~」 織部 将人(京都)「小学部入舎をしたAくんの2年間をふりかえって」		

15, 寄宿舎の教育実践2【※】	能勢 ゆかりさん (奈良教育大 非常勤講師)	②
笠井 恵 (北海道)「泣いて、しゃべって、許し合う・・・今、寄宿舎だから育まれる『折り合う力』」 小川 祐典 (栃木)「寄宿舎生活と行事活動の中で成長する舎生と寄宿舎指導員」		
16, 保護者との共同・教育条件整備【※】	吉田 洋さん (障滋協)	②
品川 典子 (東京)「『東京』の保護者との共同」 小野 知二 (埼玉)「教職員合意・子ども参加・保護者共同の学校づくり ～知的障害児学校における学校評価懇話会のとりくみ～」		

各種交流会（学級・青年・各県・各ブロック別）1/6全体会終了後

- ・障害児学級交流会 世界の山ちゃん金山総本店 18時半～21時半 一人税込 4000円
- ・青年交流会 居酒屋きんぐ金山店 19時～21時 一人税込 2860円
- ・各県や各ブロック別交流会は直接各県組織の方へお尋ねください。

参加のお申込みについて【締切 12月15日】

1、参加申込みについて ↓参加される方は全員、URLまたはQRコードから申込みしてください→

<https://gakkyugakko2024.peatix.com>



- ①申込みフォームに入ったらまず **Peatix** のアカウントを作ります。(昨年作った方は②へ)
- ②チケット購入画面より、参加申込みをします。この時のアドレスは@ezweb.ne.jp、@docomo.ne.jp @softbank.ne.jpなどのキャリアメールでは登録しないでください。
- ③申込み後、②のメールアドレスに「**tickets@peatix.com**」から受付確認メールが届きます。届かない場合は、迷惑メール設定でこのアドレスを外すか、キャリアメール以外でやり直してください。
※受付確認メールが届かない場合は、必ず下記3まで問い合わせてください。受付確認メールが届かない方は、そのあとの集会連絡メール等も届かない可能性があります。
※講座や分科会で手話通訳や点訳レポート等を希望される方は、申込みフォームの「合理的配慮希望欄」に必ずお書きください。(手話通訳の申込みは、11月末日までをお願いします。)
- ④参加者全員に「集会連絡メール」を12月26日頃に syoukyou_bu@educas.jp より送ります。26日に「集会連絡メール」がとどかない方は下記までご連絡ください。

2、キャンセルについて オンライン参加申込みの方は **Peatix** のシステムでキャンセルしてください。

現地参加申込みの方は、都合が悪くなくても、キャンセルの手続きをする必要はありません。

3、お問い合わせ (全国実行委員会・全日本教職員組合障害児教育部)

- 1月4日までの連絡先 TEL (03) 5211-0123 FAX (03) 5211-0124
メール syoukyou_bu@educas.jp 担当：村田、小林
- 1月5日～7日の連絡先 **全教携帯【080-7930-3200】**まで

全体会、分科会で会場が違います。それぞれの最寄り駅、位置関係は右記の図を参考にしてください。

刈谷産業振興センター 刈谷市相生町1-1-6
愛知県教育会館 名古屋市中区新栄1-49-10
労働会館 名古屋市中区熱田区沢下町9-7
名古屋市教育センター分館 (名古屋市教育館)
名古屋市東区泉1-1-4

